

# 平成 27 年度鹿児島県看護協会鹿児島地区第 4 回研修会

テーマ 「褥創ケアの基礎」

2015 年 10 月 24 日 (土)

講師：鹿児島市立病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 永田 富美子 先生  
鹿児島大学病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 西帯野 智代 先生

参加者 101 名 アンケート回収数 94 名

## 職種

看護師	81 名
准看護師	10 名
保健師	0 名
助産師	2 名
その他	1 名 (看護学校教員)

## 年齢

20 歳代	28 名	30 歳代	30 名
40 歳代	27 名	50 歳代	7 名
60 歳代	2 名		

## 参加動機 (複数回答あり)

1) 内容にひかれたから	59 名
2) 人に勧められたから	22 名
3) その他 (褥瘡対策委員)	17 名



### 研修内容の評価

・とてもよかった	57名
・よかった	34名
・ふつう	3名
・あまりよくなかった	0名
・よくなかった	0名



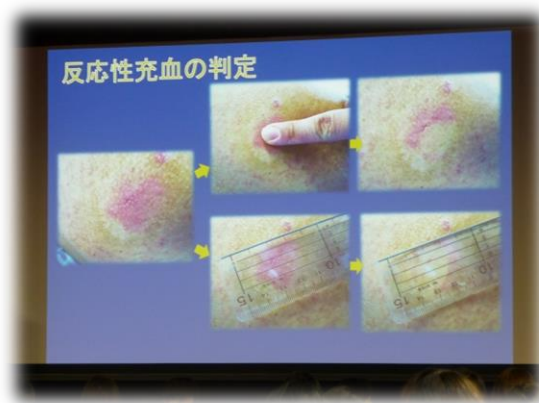
100名以上の方が参加してくれました。

### 研修の感想やご意見

- ・レジュメも見やすく内容もとてもわかりやすかったです。事例検討や模型を使用しての講義も大変参考になりました。
- ・褥瘡ケアの基礎である皮膚の構造から予防、ケア等学ぶことができました。また、被覆材や軟膏基材の特徴等も資料にあり勉強になりました。現場で生かせるよう取り組みたいと思います。
- ・若い頃より褥瘡ケアが苦手でした。現在の職場は特老が併設しており褥瘡の悪化が多いため基礎から学習、習得させて頂きまして感謝しています。
- ・とても勉強になりましたが、うちの病院は物品不足が深刻です。褥瘡が発生した患者様にもエアマットがなくつらい思いをさせています。
- ・新しい言葉や物品の紹介があり勉強になりました。経験談が参考になりました。
- ・あらためて褥瘡について学ぶと予防的視点を持てていなかったなど反省し明日から活かしていなくてはと考えた。褥瘡評価はむずかしく感じた。



- ・グループで実際に事例検討をしたり、洗浄の方法など指導してもらったことが、よかったです。
- ・DESIGN-R をくわしく教えていただき今後にとっても役に立つと感じています。
- ・評価がスタッフで違うと正しい評価にならないのでスタッフへ伝えていきたいと思った。
- ・わかりやすく褥瘡の知識やケアに対する振り返りができたようでした。
- ・午前講義の「医療関連機器圧迫創傷」の対策スライドが資料にもほしかったです。そしてこの圧迫創傷を褥瘡としてとらえるのか数にいれるべきなのか詳しく説明して頂きたかった。事例検討は褥瘡評価をする機会がないので活用してみたいと思います。
- ・昨年とまた違った洗い方や考え方を聞くことができよかったです。
- ・前回も参加しましたが、さらに理解を深められる内容でした。在宅においてのこともありましたので興味深かったです。



- ・ どんどん新しい方法や薬剤ができており新しい事を学ぶことが大事だと感じた。
- ・ 数年の間に褥瘡ケアの行い方も変化しており今回の講義を聞きケアの仕方、注意点、判定の仕方を学び、また改めて難しさも感じた。資料をもとに改めて振り返りを行いたい。
- ・ 創部によってドレッシング材や軟膏の使用が異なるためしっかり医師への報告も必要であり適したものでなければ悪化させてしまう一因となることを学ぶことができた。
- ・ ポジショニングについても紹介がありよかった。
- ・ 日々の自分の看護行為の見直しにつながりました。今後は不適切な体位変換をしないようにしたい。
- ・ 患者さんの安楽と看護する側の満足とは違うということもあらためて認識できた。
- ・ 研修を聞いて実行に移そうと努力しているが、なかなかうまくいかない。チームだけでなく全員で一体とならないと褥瘡はよくなりません。

#### 研修の時間、場所についてのご意見

- ・ 駐車場が近くにあれば来やすい。
- ・ 時間割を作ってほしい。
- ・ 途中で休憩があり良かったです。季節的に行事が多いので夏か冬をお願いしたい。
- ・ 1日ではあったが、充実な1日であった。
- ・ 場所はバス、電車を乗り継ぐので少し不便。

#### その他、お気づきのこと

- ・ 研修費が高額ですが、何に使われているか知りたかった。

#### 研修を終えて

褥瘡ケアの基礎、ポジショニングのDVD、事例検討ではDESIGN-Rの評価方法、対策など具体的にわかりやすく講義して頂き、受講者からの質問も多く、現場ですぐに活用出来ることが多く充実した1日研修だったと思います。

平成27年11月3日 文責 荒殿 やすよ